

薬剤部だより No.171

山口大学病院薬剤部

2004.4.15.

ゴールデンウィーク中の薬剤部業務の取扱いについて

【調剤薬：調剤室(TEL2669)】外来・入院臨時処方：4/28(水)17:00～4/30(金)8:30 及び 4/30(金)17:00～5/6(月)8:30 の間はコンピュータオーダされても処方箋は出力されません(麻薬入院処方箋を除く)。この期間中の緊急処方はすべて手書きとなります(投与日数は残りの休日分を厳守して下さい)。

入院定期処方：下表参照

病棟	定期処方日
2-4	4/26(月)までに 5/9(日)までの 14 日分(強制入力)を処方して下さい。
1-4、 1-9	4/27(火)までに 5/10(月)までの 14 日分(強制入力)を処方して下さい。
1-6、 1-7、 1-8	4/28(水)までに 5/11(火)までの 14 日分(強制入力)を処方して下さい。
1-5、 1-10	4/22(木)までに 5/5(水)までの 14 日分(強制入力)を処方して下さい。
2-2、 2-3	通常どおり。

【注射薬：注射調剤室(TEL2724)】4/28(水)17:00～4/30(金)8:30 及び 4/30(金)17:00～5/6(月)8:30 の間はコンピュータオーダされても処方箋は出力されません(麻薬入院処方箋を除く)。

予定注射：下表参照

予定実施日	入力〆切日	交付日
4/29(木) ～ 5/2(日)	4/28(水)の各診療科の〆切時間まで (但し、午後の〆切時間は 13:00)	4/28(水)
5/3(月) ～ 5/6(木)	4/30(金)の各診療科の〆切時間まで (但し、午後の〆切時間は 13:00)	4/30(金)

時間外注射：休日中はまず病棟在庫にて対応し、その際必ず処方箋に を付記して下さい。対応できない場合は、3枚複写の手書き処方箋に記入して請求して下さい(投与日数は残りの休日分を厳守して下さい)。

【院内製剤：製剤室(TEL2666)】4/29(木)及び 5/1(土)～5/5(水)：取り扱いを休止します。

院内製剤：この期間の使用予定量の発注は 4/27(火)までです。払出しは 4/28(水)、4/30(金)に行います。

【薬物体液中濃度測定：試験研究室(TEL2671)】4/29(木)及び 5/1(土)～5/5(水)：取り扱いを休止します。

【治験薬：DIセンター(TEL2668)】4/29(木)及び 5/1(土)～5/5(水)：取り扱いを休止します。

治験薬：この期間に投与予定の治験薬は、あらかじめ日数を調整してオーダしておいて下さい。投薬日についてのご相談は DI センターまで。

【処置薬：薬務室(TEL2667)】4/29(木)～5/5(水)：取り扱いを休止します。

4/29(木)～5/5(水)に使用予定の処置薬の請求は 4/23(金)10:00 までです。払出しは

4/26(月)～4/28(水)に行います。

選定療養及び特定療養費に関わる医薬品の情報提供文書が完成

平成 16 年 4 月 1 日

一内科

山大 太郎 様

くすりの一部自己負担のお知らせ

今回、あなたの治療に際し、必要なお薬は保険診療(薬事法に基づく承認)において認められた用法等と異なる使い方をします。現在、メーカーがこのお薬の新たな効能・効果、用法等を厚生労働省に申請しているところです。申請が認められれば、このお薬も保険診療に移しますが、しばらくは自己負担をお願い致します。このお薬を使用する際の効能・効果、用法等について説明しますので、ご不明な点、ご不安な点等ございましたら、いつでも医師・薬剤師にご相談下さい。

あなたに使われる

【お薬の名前(医薬品名)】

アスピリン(バイアスピリン錠 100mg[®])

【お薬の効果】

川崎病の治療に使用

【お薬の働き】

アスピリンの持つ炎症を抑える働きと、血液が血管内で固まるのを防ぐ両方の作用を期待して使用します。

【お薬を使用するにあたって】

もっとも多い副作用は胃腸症状です。胃潰瘍など消化性潰瘍にも念のため注意しておくことが必要です。発疹がでたり、喘息発作を起こすおそれがあります。アレルギー体質の人や、もともと喘息のある方はご注意ください。

なんらかの異常が現れた場合には医師・薬剤師にご相談ください。



薬剤部だより No.170でもお知らせしましたが、薬価基準に収載されている医薬品で、保険診療(薬事法に基づく承認)において承認された用法等と異なる投与方法で使用(適応外使用)される場合、当該投与に関わる薬剤料に相当する療養部分についてその費用を患者さんから徴収することになりました。この際、患者さんに対し、用法・用量、効能又は効果、副作用及び相互作用等に関する情報を文書で提供することになっています。薬剤部では、4月1日から説明文書(「くすりの一部負担のお知らせ」<左記>)を当該医薬品が処方された患者さんに配布し、医薬品の情報提供に努めています。

自己注射で使用した注射針・筒、穿刺針等の回収方法について

外来患者さんに処方されました注射に関わる医療用具(注射針・筒、穿刺針等)をすべて回収しています。使用済みの医療用具は必ず当院に持参していただくよう患者さんにご指導下さい。なお、回収箱は薬剤部前に設置してあります。(回収状況把握のため、廃棄の際、備え付けの用紙に廃棄日、診療科、診察券の登録番号〔ID〕氏名を記載していただいています。)

薬剤部 LAN を使用したピンク伝票レスシステムに輸血部も参加

薬剤部 LAN を使って薬品購入(使用)金額等が管理できるピンク伝票レスシステムに新たに輸血部が参加されました。既に CCMC、手術部、周産母子が参加されていますが、他部署からの参加も受け付けています。参加をご希望の場合は薬務室(TEL2667)までお問い合わせ下さい。

薬物体液中濃度測定項目の中止について

下記の項目の取り扱いを、平成 16 年 4 月末日をもって原則中止と致します。なお、ご不明な点等ありましたら、研究室(TEL2671)までお問い合わせ下さい。

測定中止項目: シクロスポリン・ポリクローナル

(モノクローナルは現行どおり測定します。)